

数学科 「数学A」のシラバス	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科 1年 1組・2組・3組・4組

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	平面図形、集合と論理及び場合の数と確率について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
教科書・副教材等	新編数学A(数研出版) ファンダノート数学A(啓林館)

2. 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	学習のねらい	備考	調査範囲
第1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 集合とその要素の個数 1 集合 2 集合の要素の個数	数学における基本的な概念である集合について簡単に学習し、そこでの用語の理解や記号の使用にある程度習熟します。さらに集合の知識を援用して、命題や論証の構造についての理解を深め、命題の証明について学習します。	記号と形式化について意識で記号と形式化について意識できれば上出来です。	中間 考 査
	第2章 論理と集合 1 命題と条件 2 命題・条件と集合 3 命題の証明			
第2学期	第1章 場合の数と確率 第2節 場合の数 3 和の法則・積の法則 4 順列 5 組合せ 6 二項定理	事柄を場合の数として整理し、過不足無く、効率良く数えることを学習し、その基本としての、順列や組合せについて学習します。	数学のなかでは具体的に分かり易いです。	期 末 考 査
	第1章 場合の数と確率 第3節 確率 7 事象と確率 8 確率の基本的性質 9 独立な試行と確率 10 期待値	順列や組合せなどの場合の数を応用して確率を求めたり、確率についての基本的な事項についても学習します。		中 間 考 査
	第3章 平面図形 第1節 三角形の性質 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 三角形の辺と角	簡単な図形である三角形と円について、その基本的な性質を学び、図形を通じて論理的思考に慣れ親図形を通じて論理的思考に慣れ親しみます。	面倒くさがらずにたくさん図を書き、感覚として理解することも大切です。	期 末 考 査
	第3章 平面図形 第2節 円の性質 4 円周角 5 円と直線 6 2つの円	簡単な図形である三角形と円について、その基本的な性質を学び、図形を通じて論理的思考に慣れ親しみます。		期 末 考 査

(2) 評価の観点および評価資料

評価の観点	評価の内容	評価資料
関心・意欲・態度(20%)	授業内容に関心を持てたか。与えられた課題に意欲的に取り組んだか。模倣から試行錯誤へと発展的に思考できたか。	授業への準備や参加状況 授業で使用するプリントやノートの整理状況
数学的な見方や考え方(25%)	文字式の扱いに、習熟できたか。グラフを通じて、変数及び関数の概念に習熟できたか。定義から論理的に積み上げて考えることができたか。	小テスト 授業ノート
表現・処理(25%)	文章を正しく読み、数学的に定式化できたか。	小テスト・演習ノート・定期試験
知識・理解(30%)	用語・記号など学習したことを、理解し正しく適応できたか。	小テスト・演習ノート・定期試験

(3) 評価方法

学期の評価	定期試験の60%、小テスト・ノート提出・レポートなどで20%、学習活動への参加の仕方や態度で20%、という配分で評価します。
年間の評価	全学期の平均で年間の学習成績とします。

3 担当者からの助言

ルーズリーフは感心しません。是非冊子のノートを使用し、見やすさを心がけてください。字を大きめに。分数は2行に書く、ちょっとした計算やメモの空白を作っておく、日付やまとめを書く、などいろいろ工夫してください。また、休んだ日のノートは、友達のを借りて補っておきましょう。何事も気持ちが入っていないと非常に能率が悪くなります。授業開始の時には教科書・ノートの準備ができていて、気持ちも切り替えているようにしてください。難しいことはありません。難しいと思ったら、頑張っって慣れましょう。